

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林研究費

事業名 研究開発機器等設備整備充実費（単建）（林政）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

森林研究所 電話番号：0575-33-2585

E-mail：c25108@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 480 千円 (前年度予算額： 480 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	480	0	0	0	0	0	0	0	480
要求額	480	0	0	0	0	0	0	0	480
決定額	480	0	0	0	0	0	0	0	480

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県内産業に「役立つ研究開発と質の高い技術支援」を提供するため、先端的研究に必要なとなる研究関連機器や施設の充実、老朽化や修繕不可能となった機器の更新を行う。

(2) 事業内容

○保冷库（更新） 1台

【要求理由】

キノコに関する試験を実施するために多数の試験体を精密な温度管理で低温保存できる薬用保冷库は必須である。2台所有する冷蔵庫のうち更新予定の1台の保冷库は故障しており、生産終了および修理対応も終了している。

現在、気候変動対策でキノコの培地を様々な温度条件で人工的に加温する試験に使用しているインキュベーターを代用している。冷却なしではキノコ試験体の変質することから既存の機器を更新する必要がある。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内産業に役立つ研究開発と質の高い技術支援を提供するため、先端的研究に必要な研究機器の購入であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	480	保冷庫 480千円
合計	480	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

先端的研究を行うために必要となる研究関連機器や施設の充実、老朽化や修繕不可能となった機器の更新を行い、研究の効率化や機器の老朽化に伴う研究業務の停滞防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

研究所における研究業務の効率化・合理化を図るための機器整備等を行う事業であるため、指標の設定は困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<p>ブロックせん断試験治具を購入した。 これまでの代替器具から専用器具が使用できるようになり、本試験を精度高く効率的に実施できるようになった。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 5 年度	<p>植物育成用phメーター、対物レンズを購入した。 これまでの代替器具から専用器具が使用できるようになり、本試験を精度高く効率的に実施できるようになった。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 6 年度	<p>作業用実体顕微鏡、簡易レーザー測量用端末を購入した。 研究に必要な機器の新規導入により、研究業務の効率的、合理的な遂行が可能となった。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>行政や企業等が求める新たな研究課題へ対応するためには、新たな機器の導入や老朽化した機器等の更新が必要である。特に、耐用年数が経過し老朽化した機器が多くなってきており、事業の必要性は増加している。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>研究機器の導入や更新により、企業や県民が求める研究に対応でき、かつ効率的に推進できており、事業の有効性は高い。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	<p>先端的研究を行うために必要となる研究関連機器の新規導入や更新に関しては、必要性等を総合的に判断し優先順位を付けたうえで、緊急性を加味し、効率的な整備となるよう運用している。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 現在使用している研究機器は、購入してからの年数が長く老朽化しているものが多いため、更新が必要なものが年々増加する。また、高額な研究機器が老朽化や修繕不可能となった場合にも予算が不足することが課題である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 着実に研究成果を上げ、研究業務に支障を来さないようにするためには、継続的な研究機器の整備が必要である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	